

神石高原



CONTENTS

平成 27 年国勢調査のお知らせ	②
「挑戦のまち」を目指して ～神石高原町総合戦略がスタートします～	③
不妊症治療費助成事業	⑪
子ども・子育て支援制度/ウォーキング大会を開催します/町立病院からのお知らせ	⑫
食育ミニ知識	⑬
TOPICS&NEWS	⑭
町からのお知らせ 設計図書等閲覧方法を変更します 他	⑮

バスケットニュース	⑮
消費生活相談窓口から	⑮
行事カレンダー	⑰
油木高校ジャーナル/トマト仙人便り	⑱
図書館だより	⑲
保健福祉センターだより	⑲
暮らし広場	⑳
Happy Birthday 神石高原町生き活きネットワーク	㉒

今月の表紙

世界一大きな絵2020

世界中の子どもたちが5m四方の布に描いた絵を繋ぎあわせて、東京オリンピックが開催される2020年に1枚の巨大な絵を完成させる企画です。県内全ての市町で取り組まれ、本町でも町内5小学校の児童が各々5m×1mの布に、地域の宝物や平和へののおの願いを込め、色鮮やかに描きました。

<http://www.jinsekigun.jp/>

神石高原町

検索

平成27年 国勢調査 のお知らせ



国勢調査員とは

- 国勢調査員は町の推薦に基づいて総務大臣が任命した非常勤の国家公務員です。
- 調査員は、その身分を証明する「国勢調査員証」を携帯しています。(見本)



- もれなく・重複なく調査を行うために、訪問時に代表者の氏名と世帯の男女の人数をおたずねします。

10月1日現在で 全国いっせいに国勢調査を行います

国勢調査は、統計法という法律に基づいて、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象として実施する国の最も重要な統計調査です。大正9年から5年ごとに行われ、今回が20回目にあたります。

調査の結果は、高齢者の介護・医療、若者の雇用対策、児童福祉、防災、地域の活性化など、私たちの暮らしのさまざまな分野で役立てられる基礎データになります。

9月上旬から 調査員がおうかがいします

自治振興会や班の調査員が各世帯を訪問して、調査関係書類を配布します。

調査への回答方法 「インターネット」でも「紙の調査票」でも回答可能

今回の調査では、先にインターネットでの回答を受け付け、インターネットで回答されなかった世帯には紙の調査票を配布して調査を行います。紙の調査票は、調査員に直接提出いただくか、郵送でも提出いただけます。



いつでもどこでも、便利に回答。
パソコンやスマホでの回答を
可能に！

インターネット回答は

9月10日～20日

インターネット回答がな
かった世帯には調査員が調
査票をお配りいたします！

調査票での回答は

10月1日～7日



調査へのご回答、ご協力をよろしくお願ひします

◆国勢調査は回答の義務があります

統計法では、正確な統計を作成するために、調査項目に回答する義務が定められています。

◆個人情報厳格に保護されます

- 国勢調査では、統計法によって、厳格な個人情報保護が定められています。
- インターネット回答における通信は、すべて暗号化(SSL/TLS方式)されています。また、不正なアクセスなどの監視を24時間行っています。
- 国勢調査に従事する者には、統計法による守秘義務が課せられています。

◆国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください！

- 国勢調査では、金銭を要求したり、通帳の「口座番号」や「暗証番号」などをお聞きすることはありません。
- 国勢調査をよそおった不審な訪問者や電話などにご注意ください。不審だと思ったら、すぐに答えず、警察や役場まちづくり推進課に連絡してください。

お問い合わせ先 総務省統計局・広島県・神石高原町まちづくり推進課 ☎89-3332



「挑戦のまち」を目指して

～神石高原町総合戦略がスタートします～

急速な少子高齢化を背景に、一昨年末、国は「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。これは、東京への人口一極集中を是正するとともに、各地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための法律です。

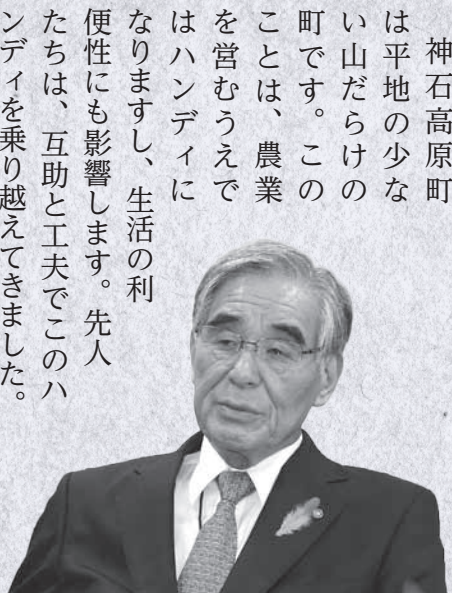
子どもからお年寄りまで、生き生きと笑顔で暮らせる町をめざして…



わが町では、この流れを人口減少に歯止めをかける好機ととらえ、「神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、作業を進めています。行政と住民との協働という新たな仕組みをベースとする同戦略について、住民の皆さんに広くご理解いただきました。本特集を組みました。ご一読いただけますようお願いいたします。

住民とともに、
チャレンジしていきます！

神石高原町長 牧野 雄光



神石高原町は平地の少ない山だらけの町です。このことは、農業を営むうえでハンディになりますし、生活の利便性にも影響します。先人たちは、互助と工夫でこのハンディを乗り越えてきました。

また、豊かな自然環境にありながら台風や地震などの災害は少なく、そういう意味では住みよい町ともいえます。そして、百歳以上のお年寄りの人口比率が県下で高い「健康長寿の町」でもあります。

とはいえ、ご存知のように人口は減少しつづけています。これに対し、町では危機感を持ってさまざまな対策を講じてきました。にもかかわらず、人口の再生産を担う若い女性の人口減少率が県下でもっとも高いということが、日本創成会議の発表（平成26年5月）で明らかになりました。町ではこの事実を謙虚に受け止め、早急な対応策を講じるべく、昨年10月に人口減少対策推進本部を立ち上げました。そして、若い人たちを中心にワーキングスタッフを招集し、人口減少対策の方針



と具体的な取り組みについて話し合い、提言にまとめました。今年度は、この提言をもとに国の地方創生支援策ともマッチさせながら、神石高原町ならではの総合戦略を策定する予定です。

思えば町村合併以降、行政の機能は縮小・衰退を余儀なくされ、かつてのような行政サービスを提供することはできなくなりました。これからは、行政と住民とがギブアンドテイクで協働する仕組み無しに地域を維持することはできません。もちろん、これまで「サービスの受け手」にすぎなかった皆さんが、いきなり「担い手」としての役割まで期待されても戸惑いがあることでしょう。皆さんのご意見を真摯に受け止めながら、少しずつ新たな仕組みへとシフトしていきたいと考えています。

町の人口はすでに1万人を切りました。そのことを残念がったり、隣の芝生を見てうらやましがったりしていても前には進めません。郷土を愛し、可能性を信じて、将来に向けた取り組みを展開していくことが重要です。スローガンは、「挑戦のまち神石高原町」。今年78歳になった私も、長年の行政経験を生かし、先頭に立って、住民の皆さんとともに「チャレンジ」していくつもりです。



わが町の現状と課題

1 加速度的に進む日本の人口減少

日本の人口は、2008年の1億2千808万人をピークとして、その後は下降線をたどっています。直近で明らかになっている人口は、1億2千730万人(2013年現在)。このままいけば、2060年には8千674万人、2110年には4千286万人と、加速度的に減少していくと推計されています(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」より)。

その大きな要因として、地方における都市への人口流出・低出生率と、大都市における超低出生率が挙げられています。このため、人口減少を克服するには、東京一極集中を是正し、若い世代の結婚や子育てに対する意欲を喚起しなければなりません。

人口減少問題は地域によって状況や原因が異なるため、各地域の特性に応じた対策が早急に求められています。

2 わが町が消滅可能性都市に!?

わが町の人口は、9千960人(2015年3月時点)。人口減少率は2000年(2010年の10年間で17.3%)と、全国の市町村の中でも高い数値を示しています。このままでは、2040年には約5千100人と

なり、人口が半減すると見られています。

その大きな要因として考えられるのが、町外への人口流出です。定年を迎える60歳前後の人や子育て世代のUターンを中心に、町外からの転入もありますが、転出者の数が転入者を上回っている現状があります。転出は18歳の進学・就職期、22歳前後の就職期において顕著です。とりわけ22歳前後の女性の転出が多く、統計からは結婚や雇用の機会を求めて都市部へ流出していることがうかがえます。

人口の再生産を担う20歳(39歳の女性人口は、2010年時点で566人。2040年には144人にまで減少すると見られています。その一方で、高齢化率は2015年現在44.8%と高く、少子高齢化の進行が懸念されています。

日本創成会議・人口減少問題検討分科会は、「20(30代の女性の割合が人口の半分以下に減った地域は、いくら出生率を上げても人口減少が止まらず、消滅する可能性が高くなる」とし、これを「消滅可能性都市」と定義しています。

今のままでは、2040年には全国896の自治体が消滅可能性都市となり、わが町もそのひとつに挙げられています。



「挑戦のまち」を目指して

急速に進む人口減少

総人口・年齢区分別人口の推計

平成22(2010)年国勢調査を基本とした、平成25年3月発表の国立社会保障・人口問題研究所の数値を用い将来人口を推計しています。

年	0~14歳	15~64歳	65歳以上	合計
2010	1.0	4.8	4.6	10.4
2015	0.8	4.0	4.4	9.2
2020	0.6	3.4	4.2	8.2
2025	0.5	2.9	3.8	7.2
2030	0.5	2.5	3.5	6.5
2035	0.4	2.3	3.1	5.8
2040	0.4	1.9	2.8	5.1
2045	0.3	1.7	2.5	4.5
2050	0.3	1.5	2.1	3.9
2055	0.3	1.4	1.8	3.5
2060	0.2	1.2	1.6	3.0

人口ピラミッド

平成22(2010)年国勢調査

3 人・土地・ムラの空洞化が悪循環を招く

人口の減少による弊害は数多く、わが町でも、すでにさまざまな問題が表面化しています。これをひと一言で言うと、**人・土地・ムラの空洞化によって、集落機能が大きく低下している**、ということになります。

具体的には、

- 多くの集落で高齢化の進行や担い手不足により、農地の保全や冠婚葬祭などの共同作業を行うことが困難になってきている。
- ひとり暮らしの高齢者など、生活や健康の維持に不安を抱える住民が増えている。
- 空き家の増加、常会が開催できない、住民リーダーの不在、自治振興会からの脱退など、コミュニティの存続そのものが危ぶまれる集落もある。
- 商店や事業所の閉鎖・撤退、学校の統廃合などにより、地域から活気と雇用が失われ、生活の利便性が低下している。
- …といった問題があります。

こうした状況は、地域への愛着や誇りが薄れる「**誇りの空洞化**」まで引き起こしてしまいます。また、年配層などは「住みたくても住み続けられない」という厳しい現実に直面しつつあります。

このように、人口減少によって引き起こされるさまざまな状況は、さらなる人口流出を招きかねず、悪循環に陥ることが懸念されています。

年齢階級別の人口移動の推移 (1980→2010)

18歳の進学・就職期、22歳前後の就職期に社会減少が顕著となっている。特に22歳前後の女性の社会減が大きい。最近の傾向(2005→2010)は高校・大学などへ進学しそのまま都市部などへ転出していることが伺える。

※国勢調査によりX年とX-5年の5歳階級別人口の差から純移動数を推計し作成

5 2015 8月号

わが町の未来戦略

1 若者定住・Uイターン促進プラン

町では、まちづくり推進課を事務局として、各課若手職員と地域おこし協力隊、青年会各支部の若手、PTA連合会会長、町立保育所保護者会代表など、若い世代の代表を招集し、平成26年10月から平成27年3月までに計10回、人口減少対策推進本部ワーキングスタッフ会議を開催。人口減少対策の方針と内容について話し合い、「若者定住・Uイターン促進プラン」という提言にまとめました。

同プランでは、人口減少対策の目標を「子育て世代に、住みたいまち」として選ばれるまち」「町内経済循環による豊かなまち」と設定。目標達成に向けて、8つのプロジェクトに分けて具体的な内容を掘り下げました。以下、その主な内容です。



【Uイターン促進プロジェクト】

神石高原町のPR、子育て支援策などのPR、田舎暮らし体験、空き家の多様な活用、Uイターン者の支援、出身者への情報発信と連携

【子育て支援プロジェクト】

子育ての経済的支援、自然を活かした教育、地域ぐるみの子育て、医療体制の充実など



【教育・人材育成プロジェクト】

中高一貫制教育、地域学習、油木高校を核とした人材育成、インターンシップの充実など

【若者就業・起業支援プロジェクト】

起業の支援（空き家の活用や情報基盤の強化など）、就業の支援（求人案内所の設置や就職説明会の開催など）、女性の起業・就業支援

【産業振興・雇用創出プロジェクト】

耕作放棄地の貸出、特産品開発、ブランドづくり、町内経済循環の仕組みづくりなど

【地域コミュニティ強化プロジェクト】

地域イベントの開催、老人会と子ども会の共同行事など多世代交流、高齢者の社会参加の促進など

【出会いと賑わいプロジェクト】

出会いの場としてのバーや居酒屋の運営、森林や廃校など地域資源を活かした多様なイベントの開催、都市との交流など



【生活サービス機能向上プロジェクト】

商業中心地の形成、小規模スーパーの誘致、生活交通の充実、町外とのアクセス整備など

3 神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略

前述の「若者定住・Uイターン促進プラン」や、住民公募の神石高原町夢創造委員会（平成22年）における提案などをベースとして、「神石高原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、作業を進めています（策定予定時期は9月）。



新規就農者



具体的には、

①「まち(地域)づくり・居住」、ひと(人口・子育て)、しごと(産業・雇用)の3つの庁内作業部会に分かれ、現状分析やアンケート調査などを実施する

②町長を本部長とする神石高原町総合戦略推進本部が原案を作成し、住民や産官学金の関係者からなる神石高原町総合戦略策定委員会に意見を諮(はか)りながら、「2060年度を目標とする長期的な人口ビジョン」および「2019年度を目標年度とする『まち、ひと、しごと』の基本目標と具体的施策、評価指針」を策定する
…というものです。

③ 地方移住への関心を追い風に

幸いなことに、昨今、都市在住者の地方移住に対する関心が高まりつつあります。例えば、まち・ひと・しごと創生本部が東京都在住の18〜69歳の男女1200人に行ったインターネット調査(平成26年8月)では、約4割が「地方への移住を検討している」または「今後検討したい」と答えています。

わが町においても、毎年100件程度の移住相談があり、空き家バンク制度への登録世帯数も増えています(登録総数は364世帯・世帯員数772名)。

移住希望者のニーズと不安要素を把握し、的確な対応をすることで、希望に満ちた追い風が加速していくと思われれます。

若者の出会い紡ぐ イベントを仕掛けたい

青年会長 藤井 勝之さん



ワーキングスタッフ会議では、主にUターンと婚活の促進について提案をしました。

若者の町外への流出を食い止めるためには、町内で結婚して所帯を持つ若者を増やす必要があります。しかし現状では、若い男性と女性の出会いの場が少なく、結婚適齢期になっても独身でいる人が少なくありません。男性は青年会や消防団など地域で表に出る機会がそれなりにありますが、女性はなか

なか表に出る機会がないことも、その一因ではないかと思われれます。

そこで、町内の居酒屋や飲食店などを活用して、若い男女が気軽に出会える婚活イベントなどを仕掛けてはどうか、と提案させてもらいました。

さらに、町外に暮らす若者のUターンを促すため、同窓会イベントの支援も提案しています。同窓会イベントは、実際に今年から青年会がメイン事業として取り組む予定です。その名も「30歳の成人式」。30歳前後といえば、日本人の平均初婚年齢です。そのタイミングで帰郷し、郷里の良さを再認識しつつ同級生と交流すること、結婚とUターンの足がかりになるのでは…と期待しています。

町ぐるみで子育て支援を

女性会長 山内 玉江さん



地域おこし協力隊の一人である男性が、こんなことを言っていました。「以前は仕事で毎晩遅くに帰宅するような暮らしをしていて、子育てを一手に負わされた妻の不満がたまり、離婚の危機に直面しました。そんな折、神石高原町は子育て支援策が充実していると知り、移住しようと思ったんです」。

いま、わが町にいる子どもの数はけっして多くありません。でも、例えば保育時間の延長や

病児保育など、子育てをするうえでよそにはない支援策や魅力があって、「この町では安心して保育や教育を受けられる」「この町で子育てをすれば楽しい」となれば、子育て世代の定住やUターンが進むのではないのでしょうか。

また、私自身も高齢者ですが、町に生活上のさまざまな技術と知恵を持つおじいちゃん、おばあちゃんがたくさんいることも強みのひとつです。味噌づくりやこんにゃくづくりをはじめ、自給自足の技術や暮らしの知恵を教えてください。人が地域にいれば、親と同居しなくても暮らしやすい。そんなこともアピールして、若い人たちに定住を促していきたいですね。

わが町の新たな仕組み

1 行政と住民との新たな協働のために

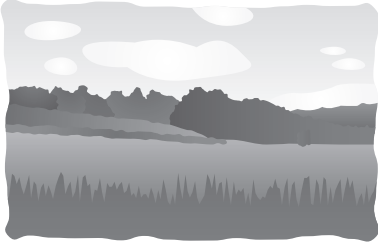
わが町は、平成16年の合併に際して、おおむね旧小学校区を基本単位として、31の自治振興会を設立しました。ところが、先述したように少子高齢化と人口減少によって、現行の規模や体制では地域コミュニティの運営が立ち行かなくなりつつあります。

今後は、

- ① 現在よりも広域なエリアを単位として、
- ② 行政との関連で縦割りにされ、個々別々に活動してきた地域の多様な団体をつなぎ直し、
- ③ 地域の課題やテーマを共有するとともに、解決方法やアイデアを幅広く出し合い、地域の総力を結集すること
- ④ 行政依存ではなく、地域づくりを住民の手に取り戻すことで、地域のニーズや特色に添ったやり方で効率よく地域の活性化を図ること

…が重要になります。

そして、そのためには「地域全体をつなぎ、住民と行政との新たな協働を推進するコーディネート役」と「連携の場」が必要不可欠です。



2 「協働支援センター」構想とは

そこで目下、検討されているのが「協働支援センター構想」です。概要は、次のようなものです（下図参照）。

- ① おおむね旧町村区域ごとに組織する。
- ② 自治振興会、公民館、営農組織、PTA団体、青年会、女性会、老人会、消防団、サークル団体など地域住民団体の代表による「円卓会議」において、地域の課題解決や活性化に向けた提案を協議し、決定する。
- ③ 必要に応じて(2)において住民だけで解決・実行できないと判断した課題がある場合など、町行政と協議し、支援をもらう。
- ④ 円卓会議および行政とのコーディネート役として、地域住民から選出したセンター長、事務局長、事務局員などを配置する。ただし、この仕組みが定着するまでの当面の間は、町職員を事務局員として配置し、人材発掘や育成などのサポートを行う。

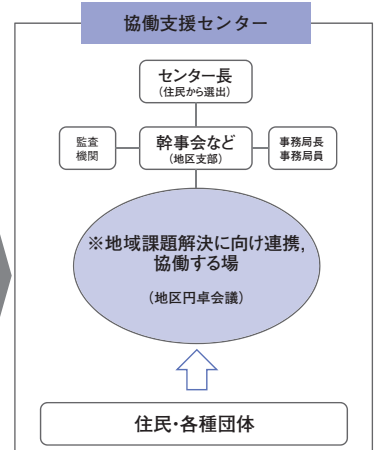
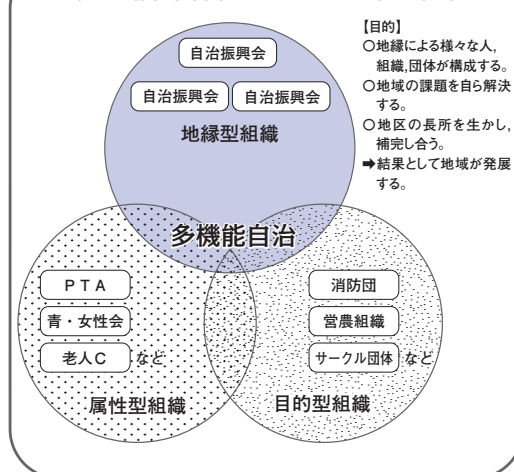


「協働支援センター」とは ー具体的なイメージー

協働支援センターの位置付け

旧町村や小学校区などの一定の地域に分け、地域の住民代表的な組織をつくり、そこに財源や権限を移譲し、自主的な地域課題解決活動を推進していく、住民自治の組織手法です。つまり、住民が身近なところに決定機関と実行機関を持った組織と位置付けます。

概ね旧町村区域で広域的な組織





3 ふるさと納税のメニューが豊富に

町では、町外在住の出身者をはじめ、多くの人たちに町を応援していただくため、昨年4月に「がんばる神石高原町ふるさと応援寄附金」（ふるさと納税）の仕組みをリニューアルしました。

「子育て支援」「高齢者支援」といった事業別に寄附金の使い道を指定できる従来のメニューに加え、町内の自治振興会やNPO法人の中から寄附先を指定できるメニューを新たに加えました。これらの新メニューは、「自

分の生まれ育ったふるさとに恩返しをしたい」という人や、「共感できる非営利団体を支援することで社会貢献をしたい」という人などから好評を博しています。そのせいか、ふるさと納税全体の寄附件数は増加傾向にあり、平成26年度末で約3千8百件、年間総額約7千8百万円に上っています。

今後も、出身者や町外支援者との絆を深めながら地域づくりを進めてまいります。

暮らしの自治を取り戻し、発展させたい

自治振興連絡協議会会長 平川 里士さん



合併前の神石高原町は、油木町、神石町、豊松村、三和町の4町村からなり、各町村は数多くの集落から成り立っていました。高度経済成長期以前には、各集落の住民が互いに助け合い、地域の暮らしを維持していました。

基本は月1回の集会です。集落内の世帯主が寄り集まって、近況報告や情報交換、地域の行事や相談ごとについての話し合いなど、地域に関わるすべてのことをみんなで協議し、決定し、実行していました。

例えば、当時の道路は舗装されておらず砂利道でしたから、しばしば補修が必要でした。そこで、「道づくり」と言って、朝早くから住民

◆ふるさと納税の特典

- ・2千円を超えて寄附した場合、寄附金総額のうち2千円を差し引いた額について、一定限度まで所得税と住民税から控除を受けられます。
- ・1万円以上寄附された方には、寄附金額に応じて神石高原町の特産品をプレゼント（ただし、上記新メニューの指定者は除外）。

が汗を流し、道の手直しをしたものです。水路の清掃や草刈り、集落を守って下さる神社の管理、冠婚葬祭まで、みな手弁当でやりました。そのぶん、住民同士の絆も強かったですね。

高度経済成長期以降、勤めに出る人が増えてこうした共同作業ができなくなり、行政に頼るようになりました。しかし今後、行政も人員や交付金が削減され、今までのようなサービスをすることはできなくなります。そこで目下、住民自治の新たな決定実行機関として「協働支援センター」を発足させようと、われわれ自治振興会の代表と公民館長、役場職員とで話し合いを進めています。

なにも単純に昔に戻ろうとか、役場の下請けをしましょうということではありません。住民の知恵を集め、今までにない発想を取り入れながら、少しでも地域がよくなるように、できることから取り組んでいく。そして、将来的には今まで以上にきめ細かなサービスを展開できるようにになれば…と考えています。

わが町への応援メッセージ

■アピールしませんか

神石高原町観光大使
ザ・ニュースペーパー

福本 ヒデさん



私は、社会派コントグループ「ザ・ニュースペーパー」に所属し、東京を拠点に全国で活動しています。ですから、芸人として思いきった意見を書かせていただきます。

私は、政治家に扮装してコントをしていきますので、本物の政治家の方々と仕事をすることもありますが、先日お会いしたある政治家は、過去に不祥事があったものの反省して復活した方でした。驚いたのは、その不祥事をネタにしたことです。周りが、変に気を遣っていたのに、隠さずにしゃべったことで聴衆の心をつかんでいました。

あまり良い例ではなかったかもしれませんが「消滅可能性都市」であることを隠さないで、むしろアピールしませんか。しかも、広島が一番というのが価値があると思います。中途半端ではなく、広島一の田舎であることを思いきりPRして観光客呼びましょう。逆転の発想で不便すら楽しんでもらいましょう。「さすが、消滅可能性一位だった!!」と。すると、町の魅力に気付き住みたいと思う人も現れるでしょう。

現実味のないことを書きましたが、先日、古川の実家に帰った時、ふと、川の音、虫や鳥の鳴き声、風の音しか聞こえてこないことに気付きました。人工物の音がしない。自然の音のみ。これは、せいたくの極みです。神石高原町。誇るべき「何も無い」が、ここにある。皆さま、がんばらずにがんばりましょう。

■伝統を受け継ぎ、助け合って暮らす姿に共感

地域おこし協力隊 小埜 洋平さん

「神石高原町ってカッコイイ名前だな」

数ある山村のなかからこの町を選んだ最初の理由は、その程度のことでした。実際に暮らしてみようのは、特別にすごい景勝地があるわけじゃないけど、噛めば噛むほど味が出る、味わい深い町だなあとということ。例えば、秋祭りで奉納される神儀という踊り。地域の人が理屈ではなく本能に近い感じで伝統を誠実に守り、淡々と受け継いできたこの踊りは素晴らしい。地域おこし協力隊として担当してきた油木

■都会にはないこの町の魅力を発信したい

地域おこし協力隊 三枝 幸樹さん

家族とともに京都からやってきた私にとって、この町の魅力といえば、まずは豊かな自然。生き物が大きい！種類が多い！カエルの合唱、「ド・レ・ミ」と聞こえる鳥の声、漆



黒の闇夜に響くフクロウの声…。都会では暑い・寒い、桜が咲いた…ぐらいいか感じられなかった四季の移ろいも、ここではめいっぱい肌で感じられます。

借りている農家住宅はすきま風がすごくて、アリアムカデもやってきます。こ

地区小野地域は、天空の里と呼ばれる山の上の里で、町でもトップ3に入る過疎地。でも、厳しい環境のなかで助け合って暮らしてきたため団結力は強く、地域の歴史を大切にしています。一方で、大学生のフィールドワーク受け入れを機に若い人との交流や移住受け入れもスタート。そんな地域の人たちとすっきり仲良くなり、今春結婚したばかりの僕と妻が若手では移住第一号になりました。この地で暮らしながら、地域活性化に貢献していきたいです。



れが都会ならイヤだなあと思うけど、なぜかここでは楽しめるから不思議です。薪割りをしたり囲炉裏に火をくべたり、野菜を育てたり：子どもたちも楽しみながら、暮らして遊びの中でいろいろなることを学んでいます。

「生きていく力を身につけたい」と思っていた私は、地元の人がいノシシをさばくのを見て、「私もやりたい!」と「わな狩狩猟免許状」を取得し、猟友会に入りました。狩猟免許はまだありませんが、多くの皆さんにご指導いただいで、皮をなめすことはできるようになりました。

地元の皆さんにとっては当たり前前の自然、当たり前前の暮らしでも、私たちににとっては本場に魅力的。その魅力を、キャンペーンイベントなどを通して都会の人たちに発信し、若い世代の人の流れをつくっていききたいですね。

不妊症治療費の 助成事業が始まりました

神石高原町元気の源 応援事業

町では、広島県不妊治療支援事業の承認決定を受けられたご夫婦を対象に、治療費の全額を助成しています。

対象者

- 次の条件を全て満たす夫婦を対象に助成します。
 - ①町への申請日以降、神石高原町に住所のある者（※居住実態のない者は除く。）
 - ②広島県の不妊治療支援事業において、不妊治療費助成の承認決定を受けている者
 - ③町税などを滞納していない世帯の者
 - ④夫婦の前年所得の合計額が730万円未満の者

助成内容

- 指定医療機関などで行った、体外受精または顕微授精に要した費用（入院費や食事代、謝礼など直接治療に関係のない費用は除く。）に対して、広島県の不妊治療費助成額を除いた費用の全額（県への申請が平成27年4月1日以降分から対象）を助成します。
※助成期間や助成回数は広島県の不妊治療費の助成事業と同じです。



助成申請の方法

- ①神石高原町の不妊治療費助成を受けるには、先に広島県の不妊治療費助成が決定していなければなりません。
- ②広島県の不妊治療費助成が決定した日から起算して2カ月以内に、保健課健康係（保健福祉センター）へ助成申請書を提出してください。（ただし、広島県の承認決定日が平成27年7月31日までの場合は、平成27年9月30日まで可）

申請の際には、申請書のほか、広島県不妊治療支援事業承認決定通知書（写し）・広島県不妊治療費助成申請に係る証明書（写し）、戸籍謄本（住民票）、領収書（写し）・印かん・申請者名義の振込先口座を確認できるものが必要です。

【お問い合わせ先】 保健課 健康係（保健福祉センター）

☎ 89-3366

FAX 85-3541

E-mail jk-hoken@town.jinsekikogen.hiroshima.jp



～ 保育所での食事・健康について ～



保育所で収穫したジャガイモ

町内5つの公立保育所では、子どもの発育・発達状況に合わせて、午前中のおやつ(3歳児未満のみ)、昼食(主食と副食の完全給食)、午後のおやつなどの食事を提供しています。

昨年度からは、3歳児以上の児童の米代を町が負担し、実質無料で提供しています。毎月、栄養士が作成した献立を基に、季節の行事に合わせた食事を取り入れ、楽しみながらおいしく食事ができるよう食育にも取り組んでいます。

また、アレルギーのあるお子さんには、入所時に保護者の方から申し出をしていただき、医師の指示書に基づき、保育士・調理師などと綿密な打ち合わせを行ったうえで、原因食材を変更するなど、きめ細かい対応をとっています。

今年度からは、新たな取り組みとして、福祉課の保健師が保育所に出向き、子どもたちに健康に関するお話しなどを順次行っています。



収穫したジャガイモを使ったおやつ



保健師による健康のお話しの様子

第2回 ウォーキング大会を開催します！

「ウォーキング大会」をきっかけに、運動量を増やしましょう！

本町では、健康神石高原21計画(第2次)の中で“身体活動・運動”についての取り組みをすすめています。特に、1日の歩行時間の増加・運動習慣のある人の増加を目指しています。

皆さん、誘い合わせて参加しましょう！

- 日 時 10月6日(火) 午後1時30分～4時
(午後1時～受付 4時30分解散)
- 場 所 帝釈峡スコラ高原神石コスモドーム周辺
- 参加費 無料
- 申込締切 9月24日(木)
- 持参物 タオル・飲み物・靴(底厚めの運動靴)
- コース
 - ・ゆったりコース(2km, 森林セラピーを行いながら歩きます。)
 - ・はやぶさコース(4km, 神石コスモドーム～キャンプ場展望台の往復コース)
- 雨天時 ドーム内で運動やゲームをします。



【お問い合わせ・お申し込み先】 保健課健康係 ☎89-3366 FAX85-3541

町立病院からのお知らせ

病院周辺の清掃活動をしていただきました

7月19日、「神石高原町立病院を守る会」の方々によるボランティア活動で、町立病院周辺の草刈りや植木の剪定、プランターの花の手入れなどをしていただきました。

梅雨明け直前の暑い時期の活動となりましたが、会員の皆さんは広い病院の敷地内を手分けして、手際よく作業されました。梅雨で伸びた雑草なども綺麗に刈り取られ、町民の皆さんに快適に病院を利用いただける環境となりました。ありがとうございました。



学校のお昼といえば、給食。給食では、決められた給食費の中で工夫して、旬の食材を使ったり、行事食を提供したりしています。

各学期に1回実施している「神石高原ランチ」では、子どもたちに身近な食材やその食材に関わる地域の方々について知ってもらおうと、地場産の食材を普段より多く使う献立を検討し、また、事前に、食材について生産者などに取材に行くこともあります。

今年度1学期の神石高原ランチのメニューは、「神石牛とこんにゃくのカレー(ターメリックライス)」「アスパラサラダ」「ブルーベリーゼリー」、牛乳でした。その中から、みなさんから問い合わせが多かったカレーのレシピを紹介します。(作り方は家庭向けにアレンジしたものを掲載しています。)

児童生徒からは、「神石牛のかがりがよかった」「こんにゃくが、弾力があっておいしかった」と好評でした。ご家庭でも、チャレンジしてみてください。



神石牛とこんにゃくのカレー(ターメリックライス) レシピ

【分量】	給食で (小学生1人分)	ご家庭で (4人分)
米	75g	3合
強化米	0.20g	-
米粒麦(大麦)	5g	(お好みで)
ターメリック	0.4g	小さじ1
牛ももスライス	30g	140g
赤ワイン	1ml	大さじ2
たまねぎ	40g	1個
にんじん	20g	(1/2本) 100g
じゃがいも	40g	1個
板こんにゃく	20g	(1/2枚) 100g
グリーンピース	5g	20g
にんにく	0.5g	少々
しょうが	0.5g	少々
サラダ油	1ml	適量
食塩	0.2g	少々
こしょう	0.05g	
カレールウ	11g	(市販のもの) 4人分
トマトケチャップ	5g	大さじ2
ウスターソース	3g	小さじ2
しょうゆ(濃口)	1ml	小さじ1弱
水	100ml	500ml(適量)

【作り方】

- 洗った米とターメリック・水をよく混ぜ合わせて、炊飯器で炊きあげる。
*お好みで麦を加えてもおいしく仕上がります。
- 牛肉に赤ワインをふって下味をつけておく。(他の調味料と一緒に後から加えてもよい。) 野菜(たまねぎ、にんじん、じゃがいも)はお好みの大きさに切っておく。板こんにゃくはひとくちサイズ(角切り、短冊切りなど)に切った後、ゆでてアク抜きしておく。(アク抜きが必要ない場合は、そのまま使用する。)
- 鍋にサラダ油、にんにく、しょうがを入れて中火にかけ、牛肉と野菜を炒め、塩、こしょうを加える。
- 全体に油がなじんだら、水を加える。
- 野菜に火が通ったら、こんにゃく、グリーンピースを加えて煮る。(グリーンピースを最後に彩りに散らす場合は、別にゆでてとっておく。)
- カレールウ、トマトケチャップ、ウスターソース、しょうゆを加えて味を整える。



「神石高原ティアガルテン」グラウンドオープン



7月4日、仙養ヶ原ふれあいの里は、新たにツリーデッキや牧場、売店などを整備して、「神石高原ティアガルテン」としてグラウンドオープンしました。

式典では、来賓からの祝辞、テープカットの後、「人と動物、自然との共生」というテーマに沿った想いを発信するため、参加者全員によるメッセージを添えた風船を飛ばしました。今後の整備や体験メニューの充実を図っていく予定です。



イングリッシュ・フェスティバル開催

7月9日、ENGLISH FESTIVAL in JINSEKIKOGEN 2015が、油木体育館で開催されました。町内2中学校の代表12組14名による英語の暗唱発表があり、生徒たちはきれいな発音に気を付けながらも、身振り手振りをまじえて表現力豊かに発表しました。

また、町内5小学校の6年生児童全員が参加し、英語の学習発表を行いました。練習の成果を発揮し、英語でのスピーチと合唱を元気いっぱい披露しました。

後半には、油木高校生による英語でのディベートや、油木高校ALTのプレストン先生による英語学習の大切さを伝えるスピーチが行われ、英語の学習意欲が刺激される1日となりました。



第65回 社会を明るくする運動



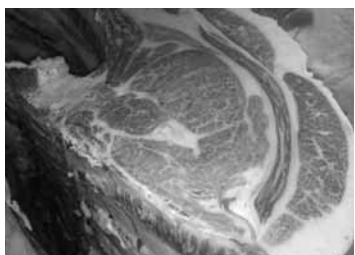
7月1日、府中地区保護司会神石分区と更生保護女性会の会員が、内閣総理大臣のメッセージ「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」を町長と教育長に渡し、犯罪のない明るい社会を築くための協力をお願いしました。その後、油木高等学校、町内2中学校と役場3支所を訪問し、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りに関する理解を深めてもらうよう協力を呼びかけました。



神石高原町産和牛「最優秀賞」受賞!

広島県内で育った黒毛和牛の品質を競う第91回広島県畜産共進会「夏季枝肉の部」が7月28日、広島中央卸売市場食肉市場で盛大に開催されました。県内各地から28頭が出品。神石高原町からは、高岡勝己さん(油木)が「82やすよ」を出品され、歩留等級A(肉の取れる割合)と肉質等級5といずれも最高ランクの成績で、見事、最優秀賞に輝かれ、この度で2回目の受賞となりました。

第91回広島県畜産共進会 枝肉



総務課

☎89-3330

▼本年10月以降に実施する指名競争入札より設計図書等閲覧方法を変更します

本町が行う指名競争入札については、これまで入札通知と併せて設計図書などを送付しておりましたが、町内におけるインターネットの利用環境の整備が進み、入札事務の効率化を図ることを目的に、ホームページ上での閲覧に変更します。

対象となる入札は、物品・施設業務、建設工事（測量、建設コンサルタントなど）の

全ての案件です。（見積依頼は除く）

なお、現在、インターネットの環境整備がなされていない場合や利用環境の不具合で閲覧が困難な場合は、役場閲覧室での閲覧もしくは、データ（CD・R）を有料でお渡しします。

入札事務の効率化について、ご理解とご協力をお願いします。

まちづくり推進課

☎89-3332

▼全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間

法務局・地方法務局および都道府県人権擁護委員連合会では、虐待や差別など、高齢者や障害者をめぐる、さまざまな人権問題を積極的に把握し、問題解決の援助を行うための人権相談所を常時開設しています。

強化週間とし、広島法務局および広島県人権擁護委員連合会においても、相談時間を延長して電話相談に応じます。

●電話番号

☎0570・003・110

（全国共通人権相談ダイヤル）

●実施期間

9月7日（月）～13日（日）

午前8時30分～午後7時

*土・日曜日は午前10時から午後5時まで

9月7日（月）から13日（日）までを、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」

保健課

☎89-3366

▼平成27年度高齢者インフルエンザ予防接種事業の実施について

町では高齢者のインフルエンザ感染予防のため、インフルエンザ予防接種費を全額助成します。助成を希望される方は、保健課、福祉課または各支所に備え付けの申込用紙に必要事項を記入して提出してください。

※各自自治振興会へ申込用紙を配布しますので、そちらもご利用ください。

●締切日 9月30日（水）

※ワクチンに限りがありますので、締切日を厳守してください。

●対象者（※年齢は接種日時点）

- ① 65歳以上の方
- ② 60歳から64歳の方で、心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の辺の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方、および、ヒト免疫不

全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方。

（医師の診断書または身体障害者手帳の写しなどが必要です。）

●お問い合わせ先

保健福祉センター内	保健課	健康係	☎89・3366
本庁	福祉課	医療保険係	☎89・3366
油木支所	町民課	町民係	☎89・3335
神石支所	町民課	町民係	☎82・0211
豊松支所	町民課	町民係	☎87・0211
	町民係	町民係	☎84・2211

産業課

☎89-3337

▼農地中間管理事業の借受希望申し込みを受け付けます

農地中間管理事業を活用して農地を借受けたい方は、公募期間中に借受希望申し込みをする必要があります。

●期間

9月1日（火）～10月1日（木）

●場所 産業課窓口

詳しくは、産業課農地係へお問い合わせください。

農地中間管理事業とは

農業の生産性を高め、競争力を強化していくためには、担い手への農地集積と集約化をスピードアップし、生産コストを削減していく必要があります。

農地中間管理事業は、担い手の経営規模の拡大、農用地などの集団化、新規参入の促進、未活用農用地の有効活用を目的に、高齢などを理由に農業をリタイアする農業者などの農用地を農地中間管理機構が集積して、担い手に貸し付ける事業です。

お願い事がありませんように



七夕の前の週から子どもたちは、願い事を短冊に書いて飾り、七夕の日、紙芝居を行い物語の大筋を子どもたちに伝えた後、保育所職員による、おり姫・

ひこ星の短編芝居を行いました。

翌日は、七夕飾りを園庭に集め、みんなの願いが天に届き、願いがかないますようにと飾りの周りに集まって燃やしました。(こばたけ保育所)

少年野球交流会



第7回神石高原町スポーツ少年団少年野球交流会が7月18日、昨年バックネットが改修された来見グラウンドと来見小学校グラウンドで行われました。町内4チームが参加し日頃の練習の成果を發揮し白熱した試合となりました。秋の第8回大会に向けてまた練習に励んでほしいです。

結果 **優勝** 三和スポーツ少年団
準優勝 来見スポーツ少年団
3位 油木ブルドッグス
(第7回大会主管 来見スポーツ少年団)

神石高原 BASKET NEWS バスケットニュース

広報神石高原では、みなさまからのお便りやお知らせ・俳句など、お待ちしております。みなさまでこのページをご活用ください。


あて先

〒720-1522 神石高原町小島2025
神石高原町役場まちづくり推進課「神石高原バスケットニュース」係
E-mail jk-kouhou@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

マツダスタジアムで神石高原町 PR



7月25日、マツダスタジアムで開催された、広島東洋カープ対読売ジャイアンツの試合で、市町村PR隊として油木高校産業ビジネス

科のナマズ料理、とまと、神石高原焼きなどの販売や観光PRをされました。会場となった「かば広場」では多くのお客さんが神石高原町の味を堪能されていました。(神石高原町観光協会)

神石高原町巡回演奏会



7月7日から10日まで、町内の小中学校で巡回演奏会を開催しました。今年は、ソプラノ歌手の^{おおもりともこ}大森智子さんとピアニストの^{みずながあみ}水永亜美子さんをお招きしました。コンサート会場は、音楽室や多目的ホールなど児童・生徒により近い場所で実施し、プロが奏でるオペラの歌声とピアニストの生演奏を体験することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

まちづくり推進課 ☎89-3332

生活消費 相談窓から

廃品回収で 高額な請求を されたら

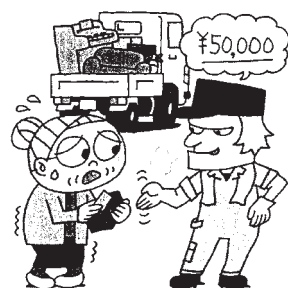
最近町内に、「不用品があれば引き取りに行く」と言う内容の電話がかかってきています。

最初は女性が電話をかけてきて、「無料で引き取る」などと言いつつ訪問することを承諾させてからくるようです。

国民生活センターには「回収品をトラックの荷台に積み込んだ後で、高額な回収費用を請求された」などの悪質業者の相談事例が寄せられています。

自宅にまで引き取りにくると言っていて、親切に電話をかけてくれたからと安易に廃品回収業者に処分を依頼すると、トラブルになりやすいので注意が必要です。

一般廃棄物の収集、運搬は各市町で許可を受けた事業者しか行えません。粗大ごみや不用品は、神石高原町のルールに従って処分しましょう。



消費生活についてお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

消費生活相談専用ダイヤル ☎89・3088

●巡回相談日

8月27日(木) 午前10時〜午後3時 役場油木支所
9月24日(木) 午前10時〜午後3時 役場神石支所

なお、本庁では毎日相談を受け付けています。

行事カレンダー

平成27(2015)年 8月→9月

8月	15 土	田舎体験しませんか? (ビレッジハウス仁吾川付近) ☎有木自治振興会 ☎ 84-2145 絵本のおはなし会 14:00~ (シルトピアカレッジ図書館) ☎ ☎ 82-2002	6 日	
	16 日		7 月	
	17 月	運動のひろば (ウォーキング) 13:30~15:00 (油木コミュニティーセンター)☎保健課 ☎ 89-3366 総合健診結果説明会 12:30~13:30, 15:00~16:30 (油木コミュニティーセンター)☎保健課 ☎ 89-3366	8 火	
	18 火	保育所開放 10:00~11:00 (いずみ保育所) ☎ ☎ 87-0099 新米ママのクッキング 10:00~12:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366	9 水	
	19 水		10 木	保育所開放 10:00~11:00 (油木保育所) ☎ ☎ 82-0906
	20 木		11 金	
	21 金	保育所開放 10:00~11:00 (とよまつ保育所) ☎ ☎ 84-2132 家族関係相談 14:00~16:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366	12 土	
	22 土		13 日	
	23 日	神石高原町消防大会 (帝釈峡スコラ高原) ☎総務課 ☎ 89-3330 図書館まつり 10:00~ (シルトピアカレッジ図書館) ☎ ☎ 82-2002	14 月	新米ママのクッキング 10:00~12:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366
	24 月		15 火	保育所開放 10:00~11:00 (いずみ保育所) ☎ ☎ 87-0099 運動のひろば (ストレッチ&体操) 13:30~15:00 (小島交流会館)☎保健課 ☎ 89-3366 総合健診結果説明会 12:30~13:30, 15:00~16:30 (小島交流会館)☎保健課 ☎ 89-3366
	25 火	保育所開放 10:00~11:00 (こばたけ保育所) ☎ ☎ 85-2718 子育て相談 13:00~17:00 (こばたけ保育所) ☎ ☎ 85-2718 心の健康相談 13:00~15:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366	16 水	
	26 水		17 木	マタニティスクール 13:30~15:30 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366
	27 木	消費生活相談会 10:00~15:00 (役場油木支所) ☎消費生活相談窓口 ☎ 89-3088 育児相談 14:00~16:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366	18 金	保育所開放 10:00~11:00 (とよまつ保育所) ☎ ☎ 84-2132 家族関係相談 14:00~16:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366
	28 金	ウォーキングの会 9:30~11:00 (旧近田小学校体育館)☎保健課 ☎ 89-3366	19 土	絵本のおはなし会 14:00~ (シルトピアカレッジ図書館) ☎ ☎ 82-2002
	29 土		20 日	
	30 日		21 月	
	31 月		22 火	
	1 火	おひさま広場 ふれあいあそび 10:30~11:30 (シルトピアカレッジ図書館) ☎ ☎ 82-2250	23 水	
	2 水	行政相談会 9:30~11:30 (役場豊松支所) ☎総務課 ☎ 89-3330 保育所開放 10:00~11:00 (くるみ保育所) ☎ ☎ 85-3329	24 木	消費生活相談会 10:00~15:00 (役場神石支所) ☎消費生活相談窓口 ☎ 89-3088 育児相談 14:00~16:00 (保健福祉センター)(要予約)☎保健課 ☎ 89-3366
	3 木		25 金	ウォーキングの会 9:30~11:00 (くるみふれあいプラザ)☎保健課 ☎ 89-3366
	4 金		26 土	
	5 土	神石高原サロン 10:00~15:00 (油木コミュニティーセンター)☎保健課 ☎ 89-3366 絵本のおはなし会 14:00~ (シルトピアカレッジ図書館) ☎ ☎ 82-2002	27 日	帝釈峡スコラ神楽共演会 (帝釈峡スコラ高原) ☎ ☎ 86-0535
			28 月	
			29 火	保育所開放 10:00~11:00 (こばたけ保育所) ☎ ☎ 85-2718 子育て相談 13:00~17:00 (こばたけ保育所) ☎ ☎ 85-2718
			30 水	おひさま広場 親子でふれあい体操 10:30~11:30 (シルトピアカレッジ図書館) ☎ ☎ 82-2250

9月

8月・9月の休日当番医

月	日	曜日	9時~17時	月	日	曜日	9時~17時
8	15	土	吉貫クリニック	9	20	日	神石高原町立病院
	16	日	神石高原町立病院		21	月	吉貫クリニック
	23	日	鈴木クリニック		22	火	神石高原町立病院
	30	日	神石高原町立病院		23	水	吉貫クリニック
9	6	日	神石高原町立病院		27	日	鈴木クリニック
	13	日	鈴木クリニック				

神石高原町立病院 ☎85-2711 小島
 鈴木クリニック ☎87-0199 福永
 吉貫クリニック ☎82-0005 油木

おひさま広場 (10:00~15:00)

曜日	8/18	8/25	9/1	8/8	8/15	8/22	8/29	会場
火	◎		◎					シルトピアカレッジ
水								シルトピアカレッジ
木								小島交流会館
金								豊松老人福祉センター
								神石老人福祉センター
土								シルトピアカレッジ

※詳しくは地域子育て支援センター (☎82-2250) へ

クラスマッチ

7月7日、クラスマッチを開催しました。学園祭で作ったクラスTシャツをユニフォーム代わりにして試合をしている選手はもちろん、応援にも運営にも、みんなが声を掛け合って活躍していました。決勝戦では、円陣を組み団結力をアピール。大接戦の末優勝したチームも惜しくも敗れたチームも満足の笑顔でお互いを称えています。

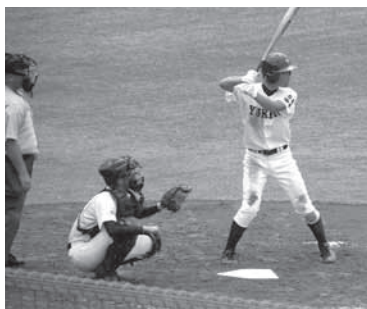


オープンスクール



7月8日、9つの中学校から95名の参加を得て、オープンスクールを開催しました。生徒会長川上瞭之介君と副会長小里成美さんがスライドショーで「油木高校の1年」を紹介して、学校の魅力をアピールしました。また、産業ビジネス科の渡邊はるなさんが全国高等学校総合文化祭弁論の部広島県代表としてナマズプロジェクトのスピーチを披露しました。その他、授業や校内見学、部活動見学に参加しました。

野球部夏の大会



7月12日、油木高校野球部は三次きんさいスタジアムで廿日市高校と対戦しました。たくさんの地域の方や卒業生、転勤した先生方が駆けつけてくださり、音楽部と有志で作った応援団に加勢して、声を張り上げて選手を鼓舞しましたが、結果は1-8の悔しい敗戦でした。10日の開会式では堂々とした入場行進を見せてくれた野球部、これからの「歩み」も多くの人が見守っています。



トマト
仙人 便り



皆さん、お元気ですか？

国道182号線の通行止めは本当に困りましたよね。改めて国道の大切さが分かりました。

さて、観光協会では11月21日(土)・29日(日)に神石高原の神楽競演会を開催します。これは神石高原町を主体に活躍されている4つの団体をより多くの方に知ってもらおうと、町内の神楽社だけで公演を行うものです。今年は、なんと1日の公演で一番活躍をされたイケてる演者を選ぶ「イケ演コンテスト」も実施します。ぜひ神楽をご覧になって一番イケてる演者の方を選んでみませんか。前売り券は、観光協会、道の駅さんわ182ステーションなどで8月17日以降販売します。



そして、神石高原町観光大使福本ヒデさん所属の、あの話題の社会風刺コント集団「ザ・ニューズペーパー」の公演が12月6日(日)、さんわ総合センターやまなみ文化ホールで行われます。皆さん、お楽しみに。

イベントについての詳細は、観光協会ホームページをご覧ください。

残暑厳しいですが、熱中症にならないよう気を付けてくださいね。



図書館まつりのお知らせ

第16回図書館まつり開催！

日時：8月23日(日)

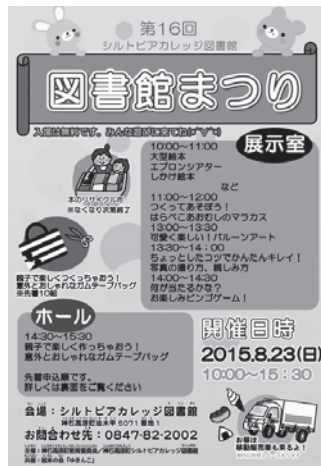
午前10時～午後3時30分

午前には、絵本の会「ゆきんこ」によるペープサートや紙芝居、しかけ絵本など楽しいお話が盛りだくさん！お話の後は、かわいいマラカスを作ってみんなで遊びませんか？

午後からは、風船でワンちゃんやキリンを作るバルーンアートの実演や、かわいいフクロウなど町内で撮影された写真の展示、さらには、何が当たるかな？お楽しみビンゴゲームなど、楽しいイベントが盛りだくさん。

お昼には、移動販売による冷たいアイスや軽食の販売も行います！館内に飲食スペースを設けていますので、お気軽にお楽しみください。

そして夏休み工作教室として、親子で楽しく！ガムテープで作るバッグ教室を開催します！募集人数は先着10組、参加費は無料です。参加ご希望される方は図書館までご連絡ください。



2015 9 September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
*	*	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	*	*	*

● 休館日 ■ 絵本のおはなし会

シルトピアカレッジ図書館だよりをご存知ですか？

図書館の特別展示のご案内や新着図書情報などを掲載した図書館だよりを1カ月に1回のペースで発行しています。図書館はもちろん各公民館、各支所にも配布していますので、ぜひご活用ください。

来月の「絵本のおはなし会」

- とき** 第1・3(土) ひる2時～
- ところ** シルトピアカレッジ 図書館内児童図書コーナー
- おはなしする人** 絵本の会「ゆきんこ」

保健福祉センターだより

平成27年度「お口の川柳」を募集します！

平成26年度最優秀賞作品 一般の部

噛む力 脳がよろこび 若返り

平成26年度最優秀賞作品 小中学生の部

かあさんに しあげをしようと かばのくち

歯と口腔の健康について広く皆さんに考えていただき、健康の保持増進につなげるため、神石高原町歯科衛生連絡協議会では今年度も「お口の川柳」を募集します。

テーマ 「歯」「口」

官製はがきに 住所・氏名・年齢・電話番号・川柳(1人1作品、未発表に限る)を記入し、保健課(保健福祉センター)に郵送するか、町内の各歯科医院・福祉課・各支所・保健福祉センターの応募箱(任意用紙でも有効)に投函してください。

● 応募期間

8月15日(土)～9月14日(月)

● 表彰など 応募作品はお返ししません。(小中学生には参加賞があります)

【小学生低学年の部】

【小学生高学年の部】
【中学生の部】
各部で表彰

- ・最優秀賞(1点) 3千円の商品券
- ・優秀賞(1点) 2千円の商品券
- ・佳作(3点) 千円の商品券

【一般の部】

- ・最優秀賞(1点) 5千円の商品券
 - ・優秀賞(2点) 3千円の商品券
 - ・佳作(5点) 千円の商品券
- 入賞作品は「広報神石高原」で発表し、11月の歯科保健講演会で表彰します。

● 選考方法

協議会委員が選考し決定します。

● 送付・お問い合わせ先

〒720-1522
神石高原町小畠1701番地
神石高原町役場 保健課内
「神石高原町歯科衛生連絡協議会事務局」宛

お問い合わせ
保健課
☎89-3366



人口と世帯			
人口	9,863 人	(- 2)	
男	4,688 人	(- 4)	
女	5,175 人	(+ 2)	
世帯	4,090 世帯	(- 6)	
8月1日現在 ()内は前月比			

8月の納税	
●町県民税・第2期分	
●国民健康保険税・第3期分	
納期限 8月31日	
※町税等の納付は便利で確実な口座振替をご利用ください。	

ふれあい障害者合同面接会

広島県東部地区ならびに笠岡のハローワークでは、障害者の雇用促進のため、ふれあい障害者合同面接会を開催します。

●日時 9月18日(金)
午後1時～開会

●場所 (受付開始お昼12時30分)
福山ニューキャッスルホテル

3F 光耀

●参加料 無料

●お問い合わせ先

ハローワーク府中

☎0847・43・8609

FAX 0847・43・1120



NHK BSプレミアム にっぽん縦断 ころろ旅

教えてください。あなたの「ころろの風景」のこと。神石高原町のいつまでも忘れられない景色、大切な人との出会いの場所、音や香りの記憶と重なる情景など、「あなただけのエピソード」を募集中!

応募内容

住所、お名前、電話番号、性別、年齢、思い出の場所・風景、場にまつわるエピソード

応募方法

番組HP 「ころろ旅」で検索
☎03・3465・1327
ハガキ・封書
〒150・8001
NHK「ころろ旅」

●募集締め切り 9月7日(月)必着

●広島県の放送予定

10月12日(月)～16日(金)

●お問い合わせ先

NHKふれあいセンター
☎0570・066・066
(ナビダイヤル)

広島県立農業技術高等学校 受験案内

本校は2年制の専修学校で、農

業・農村の担い手育成を目標に、農業の実践学習を中心とした、農業の専門的な知識・技術および経営管理能力の養成をしています。

●学科と定員 本科40名程度

園芸過程(野菜・花きコース、

落葉果樹コースの2コース)

畜産課程(肉用牛コースの1

コース)

●修業年限 2年

●入学資格

将来農業に従事しようとする者、および農業・農村の担い手を目指す者で、高卒または、同等以上の学力のある者

●入学試験

【推薦入試】

願書受付 9月16日(水)

～10月8日(木)

試験月日 10月23日(金)

【一般入試(前期)】

願書受付 11月17日(火)

～12月7日(月)

試験月日 12月21日(月)

【社会人特別入試】

願書受付 10月1日(木)

～12月7日(月)

試験月日 12月21日(月)

●学費(平成27年度)

授業料 年額 118,800円

学生寮費 年額 127,200円

●お問い合わせ先
広島県立農業技術高等学校
教務課
☎0824・72・0094

ものづくり企業向け 若手人材育成セミナー (備後圏域連携事業)

製造現場での3Dプリンター利用の現状と今後の可能性を紹介します。

●日時 9月25日(金)

午後4時～5時30分

●場所 ものづくり交流館
(エフピコRin7階)

●内容

「3Dプリンターで何ができるか」

●講師 山田知広 氏

(福山職業能力開発短期大学講師)

●参加費 無料

●申込・お問い合わせ先

福山市経済部産業振興課

☎084・928・1039

エイズ相談・HIV抗体 検査の日程変更について

広報4月号に掲載した検査日程が7月から変更になりました。相談や検査をご希望の方はお間違え

のないようにご注意ください。

●日 時

(変更後)原則毎月第1月曜日

*6、12月には、夜間(午後5時30分~7時)も実施します。

●場 所

広島県福山庁舎第3庁舎

●相談・検査料 無料 *要予約

●お申し込み・お問い合わせ先

広島県東部保健所福山支所

保健課 保健対策係

☎084・921・1311

内線2414

お詫びと訂正

7月号の記事に誤りがありましたので次のとおり訂正しお詫びいたします。

P7/トピックスニュース 右下

(誤) 柏村さん (正) 栢村さん

P8/町からのお知らせ選挙管理委員会

(誤) 平成27年12月14日

(正) 平成28年12月14日

P8/総務課

自衛官募集相談員の委嘱が行われる

(誤) 野村澄子さん(草木)

(正) 野村澄子さん(油木)

P10/バスケットニュース 右上

(誤) 大元陸 (正) 大元陸

お誕生 (7月届出分)

名前 (自注欄完全)

目崎結心 (下豊松)
佐々木麗 (木津和)
大江陸翔 (井関大矢)

(敬称略)

お悔やみ (7月届出分)

名前 (自注欄完全) 年齢

出原薫 (仙養西)	大塚リ子 (南ゆき)	阪口雅弘 (仙養西)	妹尾豊子 (上豊松)	田中義己 (仙養西)	梶屋スミコ (ながの村)	伊藤藤三 (田頭)	入江チエミ (小島)	福本勝利 (古川)	馬屋康博 (小島)	竹平巧 (有木)	池上貞枝 (小島)	高橋阿誠 (高蓋)
91歳	92歳	69歳	80歳	81歳	89歳	83歳	99歳	75歳	80歳	77歳	93歳	88歳

交 番 N E W S

町内の 7月分 交通事故



人傷事故 3件
物損事故 14件

交通事故0の町をめざそう!

神石高原町内 事件・事故発生状況



各種事件 2件



運転免許更新日のご案内

9月の免許更新日は

4日(金), 18日(金)です。

9月18日(金)でも一般・違反・初回の方の免許更新は可能ですが、10月2日(金)に再度油木交番へ来所し、講習を受けて頂くことになります。

夏期における水難・山岳遭難の防止



昨年7~8月の水難・山岳遭難は県内で10件発生しています。

夏期における子どもの水難防止

子どもを悲惨な水の事故から守るため、保護者の皆さんは次のことに気を付けてください。

- 子どもから目を離さないようにしましょう。
- 必ず保護者が同伴しましょう。
- ため池などの危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら、「危ないよ」と愛の一声をかけましょう。

夏期における中高年者の山岳遭難防止

登山をされる方は、体力や技術・経験から山を選び、現地の気象や山の状況を確認してから入山しましょう。

- ゆとりのある日程を組み、十分な整備を整えましょう。
- 装備品は入山前に十分に点検し、取り扱いをよく確認しましょう。
- 必ず複数人で登山しましょう。

防災週間 8月30日(日)~9月5日(土)

9月1日(火)は防災の日となっており、この日は関東大震災に因んだものです。県内でも活断層が確認されているので対策をとりましょう。

- 防災意識を高め、避難経路などの把握をしましょう。
- 地域で団結し、防災訓練の参加、避難時の助け合いをしましょう。

~減らそう犯罪 あなたが主役~

広島県警察ホームページ
福山北警察署ホームページ

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police/>
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police-fukuyamakita/>

HAPPY BIRTH DAY

2歳のおたんじょうびのお友達を紹介します。



いしもと あおい
石本 蒼依ちゃん (小島)
☆親の願い きょうだい仲よく元気で大きくなってね。



まえはら ゆうな
前原 悠那ちゃん (小島)
☆親の願い にいにと仲良く可愛い悠那ちゃんできてね♡



なかがわ だいこう
中川 大光ちゃん (木津和)
☆親の願い 元気に大きくなってね。



ふじわら じゅり
藤原 樹里ちゃん (上)
☆親の願い これからも、たくさん笑顔を見せてね!



うめおか めい
梅岡 愛ちゃん (高蓋)
☆親の願い 明るい笑顔をたくさんできる女の子に育って!



神石高原町民憲章

- みんなで **人**生を楽しもう
- みんなで **元**気に暮らそう
- みんなで **責**任を持とう
- みんなで **挑**戦しよう
- みんなで **行**動しよう

小説を書くにあたり、被爆者からの声に「千万言を費やした反戦・反核の言葉よりも事実にも勝るものはない」と気付いた作者・井伏鱒二氏。「虚構としての小説で終わるのでなく、地名・人名を実名のまま書き残すことが、反戦・反核の未来永劫となる」と考えた小説のモデル・重松静馬氏。「『黒い雨』は、この二人の熱い思いがあったからこそ生まれた小説。戦後70年を迎え、被爆体験者が減る中、決して風化させてはならない過去。原爆をもっと身近に感じ、反戦・反核・平和への祈りを若者へ、後世へと語り継いでいかなければならない」と話される重松さんでした。

「小島で生まれた小説『黒い雨』の平和の心を、全国へ発信したい」平成19年、その願いを持つ約80人の同志で立ち上げられた、三和地区小島にある歴史と文学の館ふれあい平和サロン「志麻利」。

サロンで館長をされている重松さんは、神石高原町を舞台に書かれた戦争文学の名作『黒い雨』をとおして、これまでに訪れた全国19都府県、約6千人余りの方々や、町内小中学生を対象に、出前授業や、平和ロード散策活動などで、平和の心、命の尊さを自らの声で伝えてこられました。また、授業を受けた中学生の提言を受けて、町読書感想文コンクールで『黒い雨』の部を設けられるなど、そのひたむきな平和推進活動に、広島県読書推進運動協議会奨励賞、広島県教育奨励賞を「ふれあい平和サロン志麻利友の会」として受賞されています。

小説『黒い雨』の発祥の地から平和の心を未来へ

神石高原町
生き活き
No.65 ネットワーク



小島自治振興会
しげまつ ふみひろ
重松 文宏さん